

優秀賞（国土交通事務次官賞）

△作文（小学生）の部▽

『土砂災害の被害を減らすために』

神奈川県湯河原町立吉浜小学校 六年 鈴木 たまえ

私は、土砂災害を直接見たことも、もちろん実際に体験したこともありません。でも新聞やテレビのニュースなどを見て、改めてそのこわさを感じました。

地すべりが起きて、家がまきこまれて亡くなってしまった方々がたくさんいると聞きました。そうした人的な被害だけではありません。農作物に被害が出たり、山の環境が変わることで生き物のすみかが減り、たくさん生き物が減少してしまったりします。中には絶滅寸前の生き物もいます。こうしたことも、やがては私達人間に影響してきます。

大雨ががけくずれや土石流が起きて直接受ける被害、環境が変わることによる影響、どちらもおそろしいものです。しかし、どれもこれも人間自分勝手な行動から生まれるのです。例えば、山にある木々を人間達がむやみに切ってしまう、地面を支える木の根が減り、その結果、地すべりなどが起こりやすくなってしまいます。世界中で起きている土砂災害のほとんどが人間のせいだとは、とてもおどろきです。でも一人一人の人間がもっとそのことを知ったら、なにか対処法が見つかるのではないのでしょうか。

私は、そんな土砂災害を防ぐにはどうしたらいいか、被害にあったらどうすればいいか考えてみました。

木をあまり切らないようにして、苗を山にたくさん植えるようにする。植えた苗をきちんと手入れして森林を育てていく。砂防の工事などを行う。しかし、これらのことはみな一般家庭では出来ないことばかりです。なので私達が先ず心がけたいと思うのは、被害を減らすことです。

その第一は、避難場所を決めておくことです。避難場所を決めておけば災害が起こりそうなとき、迷わずに早く避難が出来ます。また土砂災害で家がなくなってしまう、家族がばらばらだったときもそこに集まる事が出来ます。

もう一つ心がけたいことは、気象情報をこまめにチェックすることです。気象情報の中で警報が出る場合があります。大雨警報や洪水警報が出た場合、すぐに避難することが必要です。なので、携帯電話や携帯電話、スマートフォンなどを緊急時に持っている、とても便利です。こういった情報によつてすばやく避難することが出来れば一人でも多くの人の命が救われます。

私の住んでいる町は、海と山に囲まれています。今までは大きな災害などはありませんが、いつ何が起きてもおかしくないじょうきようとなっています。私の身近でも大きな災害が起こるかもしれません。少しでも土砂災害を防ぐために、自分の身を守るために、私はできる限りのことをしていきたいです。そして、それをたくさんの人々にも行ってほしいです。どんなに小さなことでも、出来る限りのことをやっつけていけばそれが大きな力となって、必ずなにかに役立つはずです。「ちりも積もれば山となる」と言いますが、まさにその通りです。たくさんの人々の力で、きつと土砂災害を防げるはずですよ。

災害を防ぐにはどうすべきか、避難をするときは、持ち物やその場所、どう動くべきかなどを、みんなにじっくり考えてほしいと思います。土砂災害とはとても危険でおそろしいものなのです。私は、家族や学校の友達といっしょに考えることから始めていきます。